

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

株式会社オフィス ワン・ツー

所在地	東京都杉並区	設立年	1989年
運営主体	株式会社オフィス ワン・ツー		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生に、現代演劇、現代演劇のメソッドに触れる機会を提供し、演劇を身近に感じてもらう。 ・質の高い講師のレッスンを受けてもらうことで、レベルアップを目指す中学生・高校生の可能性を広げる。 ・芸術活動を通じて、参加者一人一人が多様性と協調性を理解し、自信と向上心を持ち、自己肯定感を高めるきっかけを与える。 		
きっかけ	<p>近年、演劇部の人数が少なくなった、演劇部がない学校が増えたと聞いていたことから、演劇・演技に興味のある中学生・高校生の受け皿となる活動をしたいと考えていた。また、この10年で演技指導法が非常に変化していることから、新しく、効果的な指導法を広めたいという思いがあった。演劇は、コミュニケーション能力や自己肯定感を高め、感情表現を豊かにする効果もあることから、青年期にある多くの中学生・高校生に体験してほしいと考えている。</p>		
団体・組織等の連携			
活動場所	Studio Dance Visions(東京都杉並区阿佐ヶ谷南1-7-4 B1F、団体事務所より徒歩1分以内)		
活動概要	<p>東京白熱演劇クラブという、中高生が無料で通える演劇教室を開催。プロの演出家が講師となり、発声練習や身体のコントロール術、会話の技術、セリフの練習と発表など、プロの劇団で行っている俳優のためのレッスンを実践。一年の内、学校の長期休暇中等を除く、8ヵ月、月2又は3回、土曜日の13:30～17:30の4時間、全24回。</p>		

○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

- ・演劇部が盛んでない、又は、演劇部のない学校の生徒の受け皿になることができた。
- ・プロの演技指導者がプロの練習法で指導することで、参加者の演技力、身体能力、発声の技術が向上し、感情表現が豊かになった。参加者の一人は部活動内の配役オーディションに合格し、また、別の参加者の一人は演劇部を新たに立ち上げ、ここで学んだ練習方法を部活動に紹介していた。
- ・部活動指導員や演劇部顧問の教員が見学に来て、今後の指導法・練習法の参考にすると感想を聞いた。指導技術を向上させたいと考える教員の助けになる機会を提供できたと思われる。
- ・参加者アンケートより抜粋「講師の方が変わっても、相互に活かせることが多く、演劇に関して一貫して大切なことがわかった」「自分の癖や苦手なところがわかり成長できた」「様々な役に挑戦し、新しい面に気づけた」「この演劇クラブに行っていなかったら、今の自分はないと思います。ぜひ来年もよろしくお願いします」「体力がついたと思うし、声も大きくなったと思います」「感情の流れについて深く考えて教えていただけたので、感情の大小だけでなく、それがどういうものなのか考えることができた」

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

- ・指導経験が豊富で、中高生への指導経験もある講師を複数名配置し、様々な練習法や視点を紹介した。また、毎回必ず体操と発声練習を行い、継続することで身に付く技術や効果を実感してもらうことができた。
- ・演劇に興味はあるが、ほとんど見たことがないという参加者が大半だったので、最初は映像で紹介し、その後、生の舞台を観る機会を提供した。
- ・進路を考えている参加者に、プロの視点から、大学や社会での演劇活動について説明やアドバイスをした。
- ・コロナ禍での実施ということで、換気、消毒、マスクの着用、スケジュールやメニューの変更、アシスタントの増減、少人数制等の様々な対策を行いながら、続けて行くことができた。
- ・講師に毎回、実施報告書によって報告してもらうことにより、講師間の情報共有をスムーズに行うことができた。
- ・検討運営会議で有識者の視点からこの企画についての意見を聞くことで、講師・コーディネーターがこの企画の重要性をより深く認識することができた。

○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

- ・指導者は全員プロの演出家／俳優であることから、一人で通年の指導は不可能であると考え、複数名が持ち回りで指導することにした。そのため、様々な指導法を紹介でき、参加者はそれぞれがリンクしていることに気づき、飽きることなく続けることができたと思う。
- ・それぞれの講師に負担がないようにスケジュール調整を行い、また、緊急の場合は、代行がスムーズにできる体制を整えた。
- ・参加者の募集については、コロナ禍のために積極的に募集できなかったことが反省点である。
- ・当団体の事務所のすぐ近くに活動場所があるため、台本等の印刷、机や椅子等の道具の運搬が容易であった。
- ・会議はすべてZoomを用い、参加者・保護者とのやり取りは基本的にメールを用い、費用のかからない方法で行った。
- ・コーディネーター・アシスタントコーディネーターは、長年劇団運営に関わってきた人材を配置し、講師との連絡・協力がスムーズに行えるようにした。普段演劇の現場で行っているコロナ対策の経験を活かすことができた。

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

- ・今年度は、東京都の高校演劇連盟に参加者募集の協力をしてもらい、杉並区の教育委員会と今後の連携の可能性について話し合うことができた。また、見学に来た学校の先生、参加者の通っている学校の先生から連携の申し出を受け、今年度の事業が次年度以降に広がりを持たせる可能性を強く感じている。
- ・講師は全員、今年度の事業について、やりがいと満足感を感じており、次年度への継続と拡大を希望している。
- ・今年度の参加者のほとんどは、来年度も継続を希望している。
- ・活動場所は、当団体事務所に近接しているため利便性に富んでいるが、参加人数によってはもう少し広い場所での開催も視野に入れている。
- ・「部活動の代わりとなるもの」という点で、今後も参加費は徴収せず、「中高生なら誰でも無料で参加できる」という形態を継続したいと考えている。
- ・今年度に引き続き、次年度以降もスポーツ安全保険の加入を予定している。
- ・コロナ禍が続く場合も、今年度の経験をから、感染対策の下、実施は可能と考えているが、参加者の募集がしづらい、参加者の外出や電車での移動がしづらい状況になるという懸念がある。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

令和4年度は、以下の二本柱での実施を考えている。

①部活動・学校に講師を派遣し、プロの演出家／俳優による演技レッスンを行う(主に平日を想定)。

②当劇団事務所近くに、演劇レッスンの場を設ける(主に土日を想定)。

①によって、実際に生徒の指導に当たっている教員の時間的な負担を軽減する。また、通年で行うことで、生徒のみでも自主的に取り組めるような日々の練習メニューを紹介する。特に、演劇においては練習法がここ10年で大きく変化しているので、アップデートされた指導法を紹介することで、教員が自ら研究する手間を省くことも考えている。

②によって、演劇部が盛んでない、又は、演劇部のない学校の生徒の受け皿となり、部活動の代わりとなる場を作ることで、教員の負担を軽減する。できるだけ多くの学校の負担を軽減できるよう、受け入れ人数を増やす。

令和5年度は、上記の実施状況を元に、①の派遣講師の人数を増やす、②の受け入れ人数やレッスン場を複数にする等、教員・学校のニーズに合わせて広げることが視野に入れている。さらに、①の発展形として、東京の山手城南地区全体でのレッスンや学校の長期休みに合わせた合宿型のレッスン等の案も考えている。

令和3年度と4年度で繋がりを持った教員・学校からヒアリングを行い、実際に現場で求められているのは何か、ということを見極め、継続していくことが重要であるとする。また、文化庁主催事業の運営団体としての実績を積むことで、学校・保護者からの信頼を得て、区や東京都との連携や拠点地域として活動できる体制を整えることも視野に入れている。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

参加者 (予定人数)	中学生 2名 高校生 5名
募集方法	東京都高校演劇連盟から加盟校の先生にメールにてご案内を送付、無料のホームページを作成、チラシ配布、杉並区の中学校・高校にFAXにてご案内を送付
指導者	実演家4名 (ワンツーワークスより、演出家一名、俳優一名) (キャラメルボックスより、演出家二名)
移動手段	電車等の公共交通機関
活動費用	参加費は無料。 すべて助成金にて賄う。

<p style="text-align: center;">スケジュール</p>	<p>夏期(1期) 6月5日(土)・12日(土)・19日(土)講師:白坂恵都子、26日(土)講師:古城十忍 7月3日(土)・10日(土)・17日(土)講師:成井豊、24日(土)・31日(土)講師:古城十忍 秋期(2期) 9月11日(土)・18日(土)、25日(土)講師:白坂恵都子 10月23日(土)・30日(土)講師:古城十忍 11月6日(土)・13日(土)・20日(土)講師:成井豊 12月11日(土)講師:古城十忍 冬期(3期) 1月15日(土)講師:古城十忍、22日(土)講師:関谷美香子 2月12日(土)・19日(土)講師:白坂恵都子、26日(土)講師:古城十忍 3月5日(土)講師:古城十忍</p>
<p style="text-align: center;">保険加入等</p>	<p>スポーツ安全保険 C区分6名 A1区分1名</p>

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子 (写真添付)】



